

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス シュエット新松戸教室		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 11日		～ 2026年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は視覚的にわかりやすい掲示などの工夫がされており、子どもにとって理解しやすい環境づくりが行われている。	視覚的にわかりやすい環境設定 死角を減らすための設備改善	継続的な設備改善
2	個別支援計画の作成・実施について適切に行っており、専門的支援などによる支援の質向上にも取り組んでいる。	専門的支援による質向上 記録の徹底と共有	現在の支援品質の標準化 支援の振返りの定着
3	利用者との関係性を良好にするため、連絡帳・LINE・送迎時の対話など複数の手段を活用したコミュニケーションを実施。	LINEや送迎時の直接コミュニケーション	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	死角・設備(台所・玄関等)の改善余地がある	物理的制約の影響	死角の解消 継続的な設備改善
2	支援前後の打ち合わせが徹底されていない 活動全体の振り返りが定例化されていない 忙しい時の朝礼共有が不十分	日々の支援業務により、振り返りや仕組み整備の時間が不足している 職員間の連携はあるが、標準化が不十分	忙しい時でも共有できる仕組み構築
3	学校連携にばらつき 保護者会や交流機会が不足		学校・関係機関との連携強化 保護者会・参観日・交流機会の創出